

2016年度 岐阜大学教育学部附属 郷土博物館 学内内覧会「ナイト・ミュージアム」の実施

●目的

教育学部本館五階にある「郷土博物館」は、教育学部附属の大学博物館です。始まりは、当学部の前身校の岐阜県師範学校に1931（昭和6）年に設置された「郷土室」であり、1955（昭和30）年に「博物館相当施設」として指定を受けました。現在は全国大学博物館協会および岐阜県博物館協会等にも参加する「博物館類似施設」ですが、学部教職員の皆さんはもとより全学での知名度が著しく低いのが現状です。

本年度も内覧会を実施し、その存在をより広く認識していただくとともに今後の大学博物館運営および活用を考えてゆく場にできればと思います。

新たに、幕末の加納藩士小川権右衛門政暢が所蔵していた甲冑のほか、袖、面頬、小手、佩楯、旗指物、合当理、めんぼお、はいだて、はたさしもの、がったり
ぐんせん、さいはい、くさりかたびら、くさりごて、くそくびつ
軍扇、采配、鎖帷子、鎖籠手、具足櫃などの「蔵出し期間限定展示」を追加しました。実物を間近で見ることのできるこの機会に、ぜひお越し下さい。

●公開イベントおよび対象者

岐阜大学の教職員、学生・院生など、および学内者と一緒に来館する一般の方(新規対象)

●博物館公開日時

学内内覧会「ナイト・ミュージアム」

公開期間：平成28年 11月17日(木)、12月8日(木)の2日間

開館時間：郷土博物館 第一展示室 17:00～19:00 随時収蔵庫見学※

観覧料金：無料

- ・随時収蔵庫の見学ツアーを行う
- ・可能であれば、関連分野の教員に展示品や収蔵品のポイントを解説してもらう
- ・当日は歓談交流の場を設け、軽食と飲み物を有料提供
- ・博物館出版物(収蔵品目録)を自由に閲覧できるコーナー設置
- ・博物館パンフレット、活動報告書等の設置



展示の様子